

**2021年度S2**

**オンライン授業報告**

---

## 目次

- ①オンライン授業のメリット
  - ②オンライン授業のデメリット
  - ③オンライン期間中の習熟度
  - ④登校日とオンライン日での学習習慣への影響
  - ⑤80%登校or100%登校
  - ⑥時差or通常登校
-

# オンライン授業のメリット

## 《多かった意見》

### ○通学時間が無い

- ➡学習時間にあてることができる
- ➡睡眠時間を確保することができる

※生活リズムの乱れにつながる可能性あり

### ○通学する体力を使わない

## 《その他》

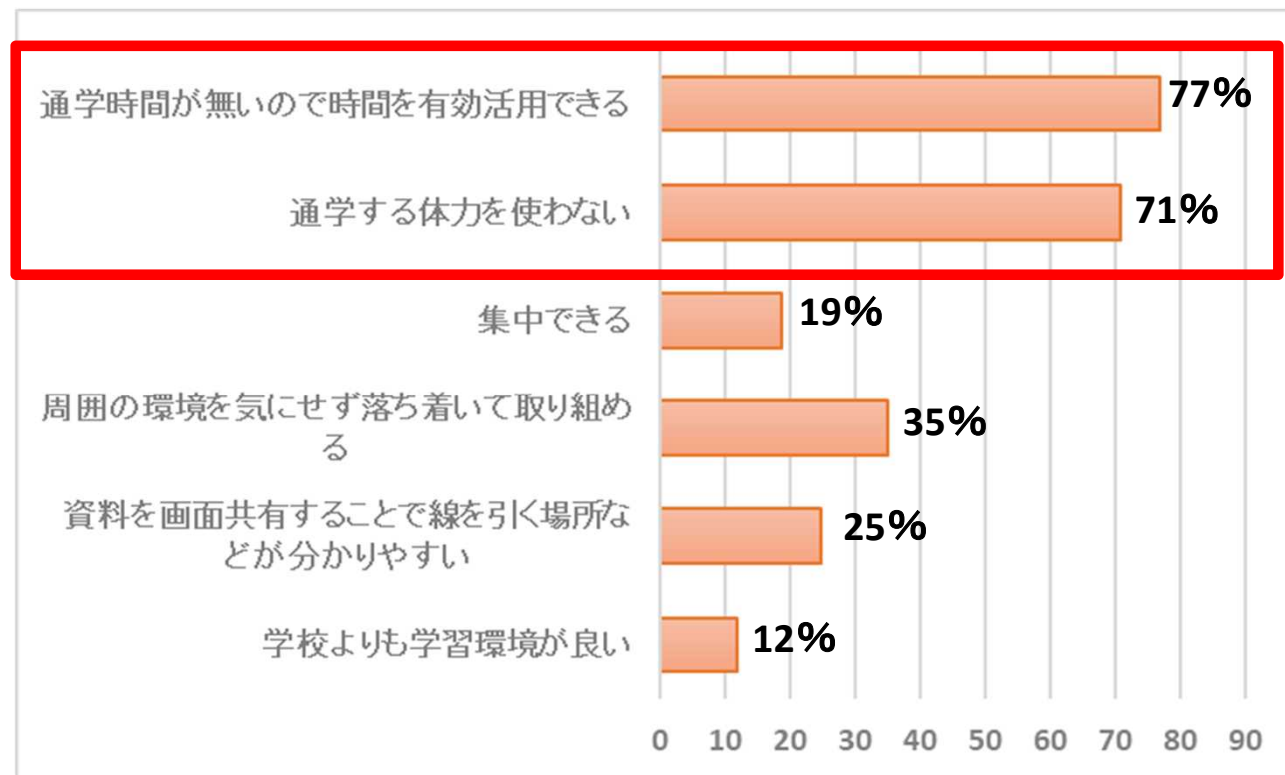
### ○授業進度での遅れがほとんどない

- ➡警報の日でも授業を行うことが可能

### ○感染拡大のリスクを軽減できる

### ○海外とのオンライン交流会を実施できる

S2学年と学年全体の結果に大差はなかった

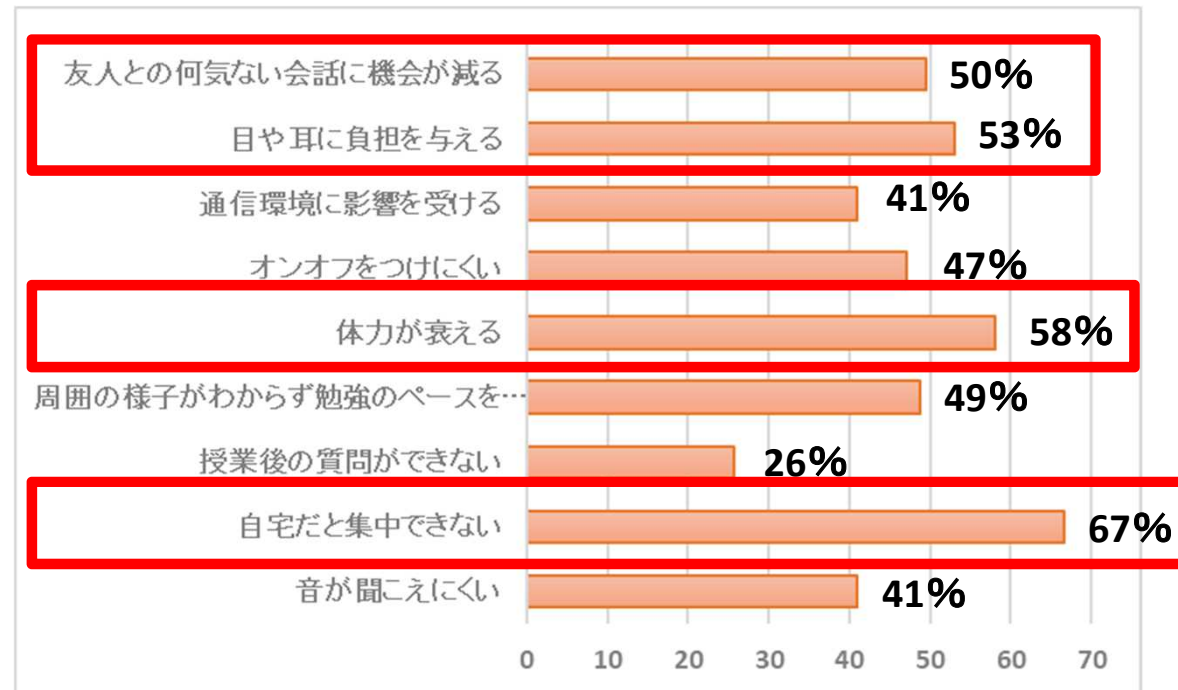


# オンライン授業のデメリット

全体的に50%前後の意見が多かった

- 自宅だと集中できない
  - ➡学校を学習の拠点としている生徒が多い
  - ➡みんなが頑張っている雰囲気の中で学習を行いたい生徒が多い
- 会話の機会が減る
  - ➡ストレス解消の場が減ってしまう
  - ➡精神的にしんどくなっていく
- 授業の習熟度の低下
  - ➡管理のしにくさがある

S2学年と学年全体の結果に大差はなかった



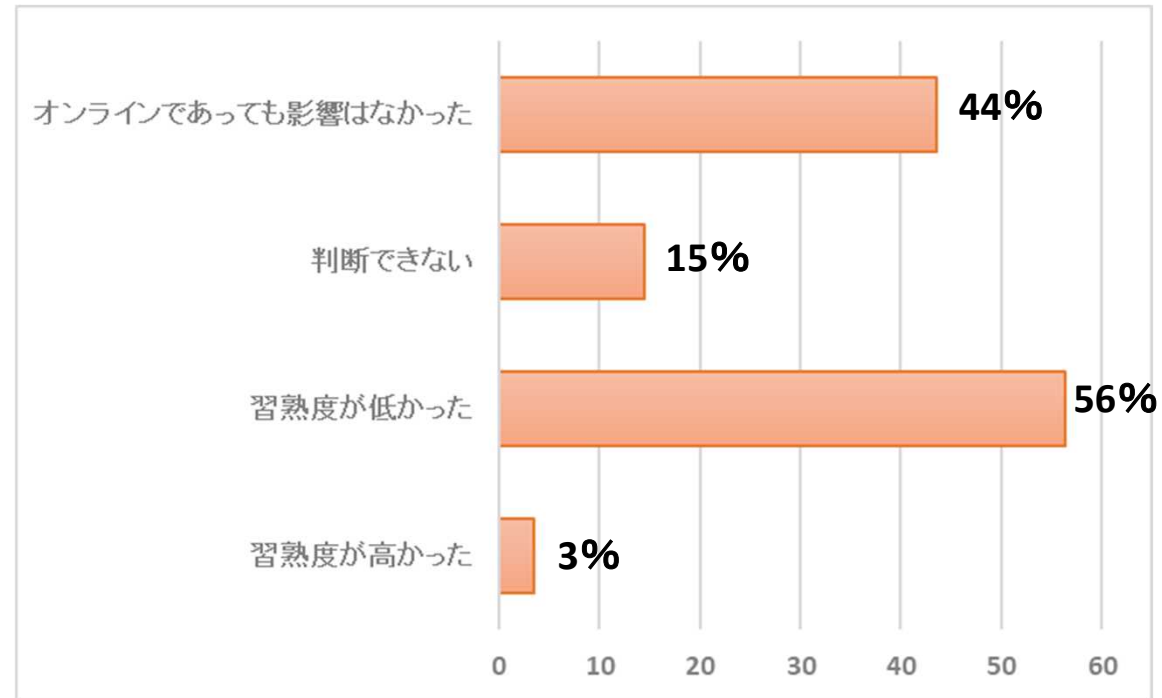
# オンライン期間の習熟度への影響

○半分以上の生徒が習熟度が低いと回答している  
➡原因としては以下が考えられる

- ・長時間話を聞くことができない
- ・どうしても甘さが出てしまう
- ・自己管理がなかなかできない

○「影響はない」と回答した生徒は  
3組(Bコース)の生徒が過半数を占めていた  
➡日ごろから学習習慣が身につけている生徒には  
あまり影響はないと考えられる

S2学年と学年全体の結果に大差はなかった



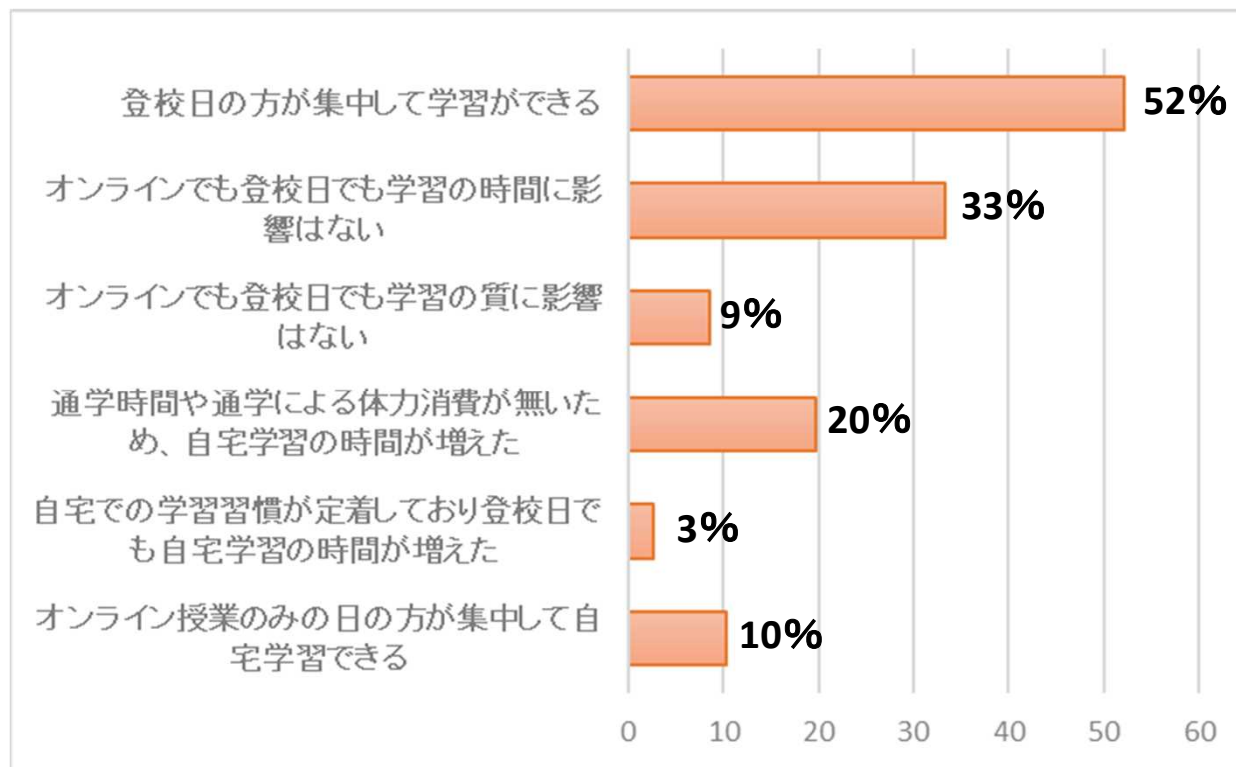
# 学習時間・習慣への影響

○半分近くの生徒が習熟度が低いと回答している  
 →原因としては以下が考えられる

- ・長時間話を聞くことができない
- ・どうしても甘さが出てしまう
- ・自己管理がなかなかできない

○「影響はない」と回答した生徒は  
 3組(Bコース)の生徒が過半数を占めていた  
 →日ごろから学習習慣が身についている生徒には  
 あまり影響はないと考えられる

S2学年と学年全体の結果に大差はなかった



# 80% or 100%登校

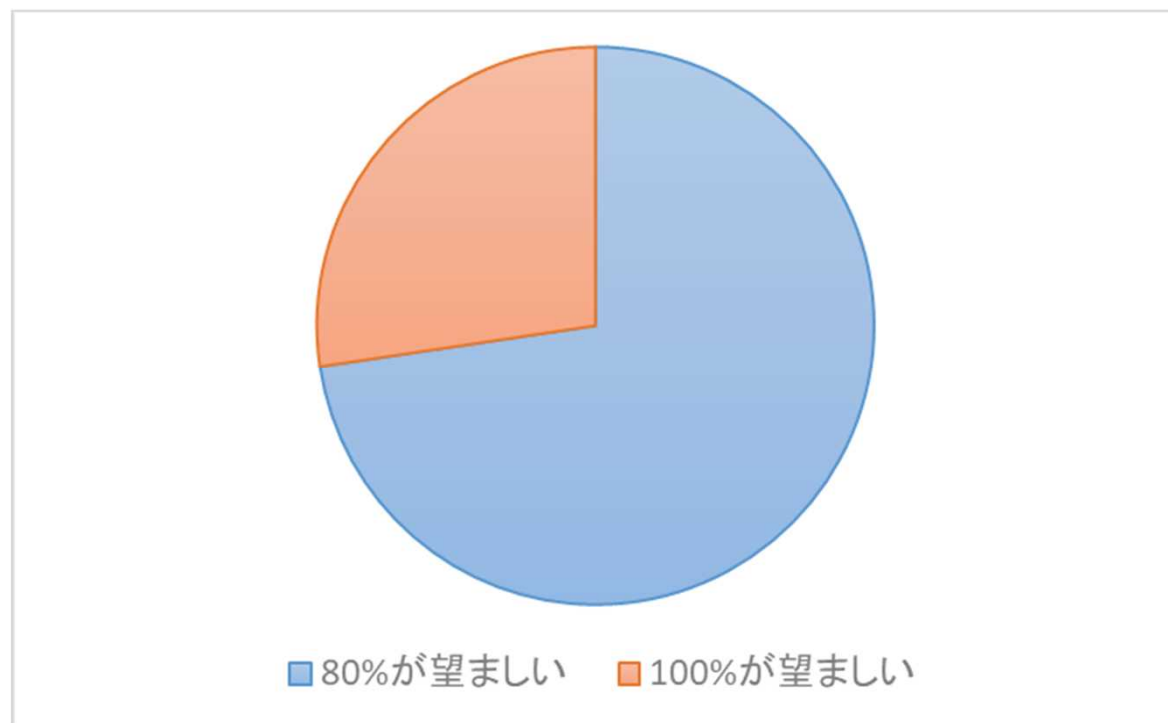
○ 学年全体の集計結果と大差はなかった

## 《100%が望ましい理由》

- ・音声が途切れたり画面が悪くなることがある
- ・土曜日は電車の乗客が少ないから
- ・家だと怠けてしまう
- ・土曜の放課後に部活に参加できる
- ・1人での学習だとすぐに先生や友人に質問できない
- ・生活リズムが崩れるから

## 《80%が望ましい理由》

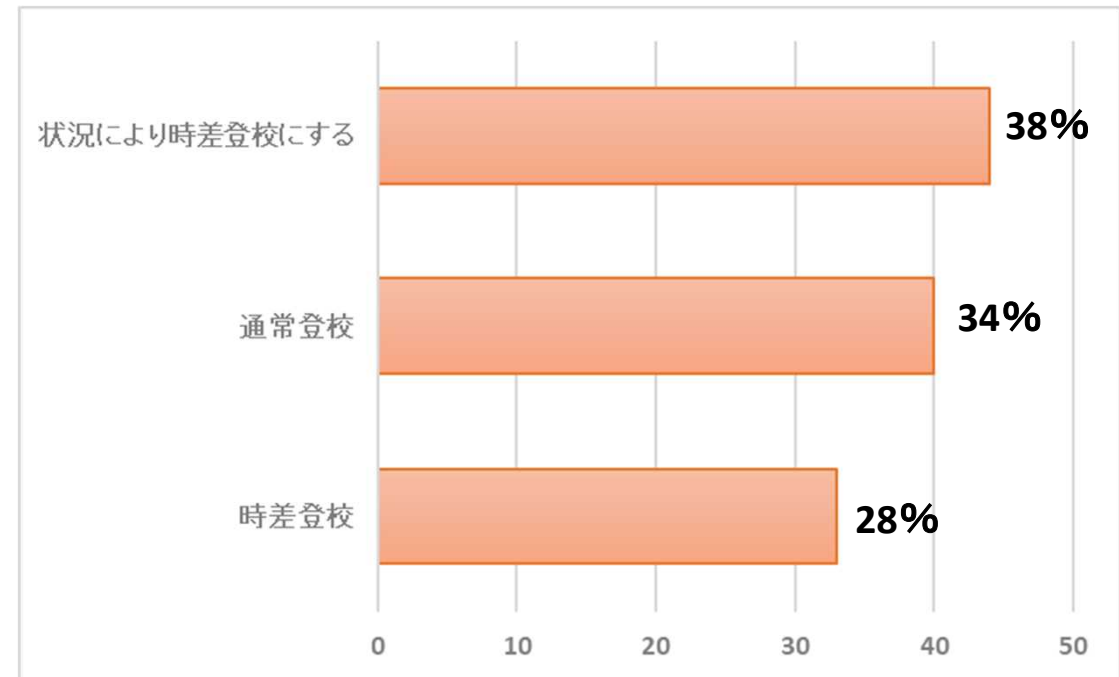
- ・通学時間を学習時間にあてることができる
  - ・睡眠時間を多くとることができる
  - ・体力的に疲れないから
- ➡この3つの理由が大半を占めている



# 通常登校 or 時差登校

○調査したのは蔓延防止措置がでている状況下

時差登校のみを希望している生徒はほぼいなかった  
状況によって時差登校を希望する生徒がやはり多い





## まとめ

長期のオンライン授業に入ることは今後もあることを前提に生徒の習熟度が低下しない取り組みを考えていく必要がある。

- ・アサイメントの活用
  - ・PMTMのチェック
  - ・zoom自学への参加
  - ・定期的な面談
  - ・再テストの実施
  - ・zoom朝学習の導入など
-